

■ 現代中国学部 現代中国学科

教育研究上の目的
学則第1条（目的） 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。
学則第2条の2（学部及び学科） 現代中国について総合的に教育・研究する学部として、国際的な視野と識見を備えたグローバル人材を養成する。この目的を実現するために、ビジネス・言語文化・国際関係の3コースを設け、中国語教育を基礎に、専門的かつ広範な学修を積み、また現地プログラム、現地研究調査、現地インターンシップ等を通じた実践的・能動的教育を行う。
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）
現代中国学部では、現代中国について総合的に教育・研究する日本唯一の学部として、学則第2条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、現地主義教育を通じて卒業研究を含む所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「学士（現代中国学）」の学位を授与します。
（知識・技能） 1. 中国語運用能力を身につけている。 2. 現代中国に関する専門的な知識を身につけている。 3. 国際的な視野と識見を備え高度なコミュニケーション能力を身につけている。
（思考力・判断力・表現力） 1. 現代中国に関する上記知識・技能にもとづいて総合的に分析することができる。 2. 現代中国に関する適切な理解を発信する力を身につけている。
（主体性・多様性・協働性） 1. 多様な価値観を持つ人びとと積極的に交流することができる。 2. 主体的に行動し協働する意欲を持っている。
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
現代中国学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、全学部共通で示す教育課程の編成・実施方針に加え、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。
（教育内容） 1. 現地主義教育の基盤をなす実践的な中国語運用能力を身につけるため、1年次に「基礎中国語」を、2年次には中国人留学生を除く全員が中国・台湾・マレーシアの大学で「現地プログラム」（4か月間の研修）を行う。 2. より高度な応用力を養う中国語強化コース、さらに中国・台湾の大学との間で「ダブルディグリー・プログラム」（2重学位制度）を設置する。 3. この他「Business English」を設け、英語教育にも力を入れている。 4. 2年次からは、各自の関心に応じて「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて、現代中国に関するより高度な専門的知識を学修する。なお、専門教育科目は他のコースの科目も履修可能である。 5. 1年次に、大学教育への適応を促す「入門演習」、2年次には論理的分析へとつなげる「基礎演習」、そして3・4年次には専門的議論を可能とする「専門演習」を設ける。これら演習科目を切れ目なく設定することで、学生が共同でできる能力を培う場を提供する。 6. 4年次において、卒業研究を課す。 7. また「現地プログラム」「現地研究調査」「現地インターンシップ」などの現地主義教育の科目や、「相互交流入門」「相互交流応用」などの「さくら21」科目だけでなく、これらの科目と密接に関連する課外活動においても国際交流の機会を設ける。
（教育方法） 1. 学生の主体的学修を支援できるよう、アクティブ・ラーニング等の教授手法を積極的に取り入れる。 2. 少人数教育を演習、実習等で実施し、学生の能力・資質に応じた学修ができるようにする。 3. 交換留学や国内外での課外活動・フィールドワークを奨励する。 4. 英語教育を促進するため、海外ゼミ研修や短期語学研修の促進、外部の英語テストの受講など、様々な支援を実施する。
（学修成果の評価） 現代中国学部では、本学における学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、GPA分布（年度毎、通算）、留年率、卒業論文の成果評価割合等により行う。 2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行う。

愛知大学 3つのポリシー（2024 年度向け）

3. 必修科目である卒業研究に関しては、専門演習を通じた指導に加えて、複数教員による口頭試問を設置しルーブリックを用いて評価およびその基準を可視化する。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

現代中国学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 中国に対して強い関心を持っている人。
- (2) 現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
- (3) アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
- (4) グローバルな視野で社会貢献したい人。
- (5) 異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

（知識・技能）

- (1) バランスの良い基礎学力。

（思考力・判断力・表現力）

- (1) 物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。

（主体性・多様性・協働性）

- (1) 年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。

3. 選抜方法

(1) 一般選抜

基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3 教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。

(2) 総合型選抜

出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。

(3) 学校推薦型選抜

調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。